むすぶ手・つなぐ手

~ホンモノの支え合いづくり・5 つのポイント



学びの場レポート

ご近所福祉クリエーターの酒井保さん によるセミナーを、新蛇田第一集会所にて 開催し、つながりのたいせつさや、社会性 が健康寿命をのばすことなどを学びまし た。

今回の参加者は、初めて酒井さんの講演 を聞くと言う方も多く、真剣な表情で聞き 入っていました。

質疑応答では、地域の集い場づくりなど の活動を新しく始めてみたいと考えてい た住民から多くの質問が出て、活発な意見 交換の場となりました。







地域のつどい場

向陽小学校となりの「勝又商店」。

1970年(昭和45年)に開店し、来年は50年を迎える老舗です。

以前は文具や手芸用品などを多岐に取り扱い、ご夫婦で切り盛りされていましたが、現在は奥様がおひとりで駄菓子販売を中心に営まれています。

地域のお茶っこの場として、そして放課後には子どもたちも集まる老舗駄菓子屋として、多くのみなさんに親しまれています。

住所: 石巻市向陽町 4 丁目 17 番地 3 号

30225-23-2145



発行:特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター(CLC) 編集:石巻・蛇田のより処 まざらいん

拠点: 石巻市向陽町 5 丁目 14 番地 22 号(〒986-0863) 受付時間: 月~金 9:00~18:00



まざらいん

2019年2月(隔月刊)



石巻じちれん主催の「のぞみ野地域食堂」に、まざらいんも運営と調理の協力を行っています。 調理はのぞみ野に住む人たちが中心に行い、各自で役割を分担し、積極的にお手伝いに参加していま した。

この日は、おからや雑穀米を使った健康メニューでした。デザートは、「にじいろクレヨン」の活動に参加している子どもたちが白玉ぜんざいをつくり、参加したみなさんからも、「子どもたちがつくったデザートがおいしかった」「盛りつけが上手に出来たね」と好評でした。

未就学児から高齢者までが世代を問わず同じ空間で食事をともにして、賑やかな時間をともに過ごすことは普段の生活ではあまりないことなので、これからもっと参加者が増えればいいなと思います。 今後は、月1~2回の開催予定です。

この情報紙は「平成30年度 石巻市蛇田地区復興公営住宅等の孤立防止事業」の一環として作成しています。





新西前沼第三復興住宅

長野より おそば提供&ふれあい交流

2月4日(月) 石巻市社会福祉協議会の紹 介により、東日本大震災支援「長野よりおそ ば提供&ふれあい交流会」が、開催されまし

主催は浄土真宗本願寺派(西本願寺)長野 教区・東北教区災害ボランティアセンターで、 信州そば、リンゴ、綿あめなどの提供をいた だきました。

近隣の復興住宅や戸建住宅からの参加もあ り、とても良い交流の場となりました。新西 前沼第三復興住宅団地会のみなさんの協力の もと、住民からボランティアさんへ感謝の気 持ちを込めた歌や踊りが披露され、みんなで

立野第一復興住

立野第一復興住宅での移動サロンでは、同時刻に集会 所で子ども向けのサロンを行っているため、子どもたち が多くやってきますが、この日は子どもたちのほかにさ まざまな年代の住民が来てくれました。

参加された、ピアノが上手なご婦人が演奏を始めると、 にじいろクレヨンに来ていた子どもたちが興味を示し、 ひざにのってピアノの弾き方を教わるほほえましい姿が 見られました。



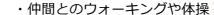
「つどい場・通い場・笑顔の場」を教えてください!

皆さんに情報提供いただいた活動に、まざらいんのスタ ッフがおじゃまして、本紙上で紹介したいと思います! ちょっとしたお茶飲みなどの集まりでもかまいません。 お気軽にお声がけください。

皆さんからの「まざらいん!」をお待ちしています!

ご連絡: 0225-24-9910

たとえば……



- ・自宅でのお茶飲み
- ・趣味の会やサークル活動
- ・地域の行事



発見!みんなのつどい場・通い場・笑顔の場

まざらいんスタッフが皆さんの活動におじゃましました!



石巻赤十字病院に隣接する、あけぼの北復興住宅では、団地会の集まりとして、月2回(小も のづくり第2、第4火曜日)、(お茶っこの会「さくら花ざかり」第2、第4水曜日)が集会所で 開催されています。お邪魔したこの日は、折り紙などを使ったひなかざりづくりと、ズンドコ体 操が行われ、私たちも一緒に参加して楽しく過ごしました。

沼田第一復興住宅「からだも頭もの~演劇体操」



1月18日(金)「演劇企画集団 London PANDA」が沼田第一住 宅集会所で、演劇を取り入れたコミ ュニケーションゲームや世界中の民 族舞踊をモチーフにした健康体操で 住民を楽しませてくれました。

「演劇」になじみのない住民も、 わかりやすく楽しいゲームであった ため、気軽に参加することができた ようです。

コミュニケーションゲームや体操 の後にはお茶会が催されて、住民同 士や London PANDA の方が交 流を持つ場が開かれました。ご自身 の震災体験や世間話など、さまざま な話に花が咲いていました。